

令和7年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・どの学年も着実に力をつけ、成果を得られているといえる。
- ・2、3学年ともに、「教えあい」「ペアワーク」などの活動が積極的な学びにつながり、各領域の高い達成率となって表われている。また、復習プリント等などの反復練習の実施が、成果に繋がっているといえる。

(2) 課題

- ・解答形式が記述である問題の正答率が、それ以外のものと比べて低いこと。
- ・計算のテクニックにばかりを重視して思考のプロセスを言語化する力が乏しいこと。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） △目標値を上回る ≡目標値と同等 ▼目標値を下回る

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △		
第2学年	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △	知識・技能 △ 思考・判断・表現 ≡ 主体的な態度 ≡ (第1学年時)	
第3学年	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △	知識・技能 △ 思考・判断・表現 ≡ 主体的な態度 ≡ (第2学年時)	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △ (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を越えており、定着していることが伺える。	目標値を越えており、定着していることが伺える。	目標値を越えており、定着していることが伺える。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を越えており、定着していることが伺える。	定着していることが伺える。	目標値を越えており、定着していることが伺える。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を越えており、定着していることが伺える。	目標値を越えており、定着していることが伺える。	目標値を越えており、定着していることが伺える。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元テストや小テストを定期的に行い、問題練習を増やしていく。また、基礎、基本の定着を図るために、演習プリントを多数準備し、自らの力で問題が解ける力を伸長させる。	思考の道筋をしっかりと表現できるよう、解答の記述についての指導に力を入れていく。	授業中に「教え合い」や「ペアワーク」を取り入れ、自ら授業に参加する雰囲気作りをする。タブレットドリルを効果的に活用する。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
復習プリントや、タブレットドリルを活用したくり返し練習を行い、基礎・基本の定着を図る。	復習プリントや、タブレットドリルを活用したくり返し練習を行い、基礎・基本の定着を図る。	計画的に学習に取り組めるように、課題や期限を明確にして指導していく。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
板書を写す必要がないよう授業用プリントを用意し、演習の時間と演習量を確保することで基礎・基本の定着を図る。	答えに至るまでのプロセスを重要視して、考え方の言語化や生徒同士の対話・教え合い等の時間を確保することで考えを深める。	生徒が自ら取り組みたくなるような問題の工夫・導入の工夫をしていく。